

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書により各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第 64 期 報告書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)



チングルマ咲く穂高

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5~6
研究開発の状況	P 7
トピックス	P 8
財務諸表（連結）	P 9~10
財務諸表（個別）	P 11
製商品の紹介	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である“橘”を冠した株式会社橘^{たちばなせい}生^か化学^{がく}研究所としてスタートしました。翌年橘^{きつせい}生^{せい}薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第64期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

米国の金融危機に端を発した経済不況は世界的に拡大し、各国の実体経済や財政に深刻な打撃を与えております。公的制度に立脚する医療用医薬品市場の将来見通しも不透明と言わざるを得ず、国内におきましても後発品の使用促進策等の医療費削減施策がますます強化される中、混迷を深めている流通問題の行方や、薬価制度改革論議の帰趨は予断を許さない状況にあります。

このような情勢の中、当社は排尿障害改善薬「ユリーフ[®]」、糖尿病治療薬「グルファスト[®]」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン[®]」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。本年2月には新たにユリーフの錠剤を発売いたしましたほか、グルファストのチアゾリジン系薬剤との併用療法の効能追加を取得し、本効能に関わる医薬情報活動を開始いたしました。

研究開発面では、前述のグルファストの効能追加に加え、抗CD26ヒト化抗体YS110（開発番号）の悪性中皮腫を対象とした臨床試験の準備を進めるなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。また、共同開発中の腎性貧血治療薬JR-013（開発番号）につきましては、日本ケミカルリサーチ株式会社により昨年11月に承認申請が行われました。海外におきましては、昨年10月に米国食品医薬品局（FDA）より承認されました当社創製品のシロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ[®]」）が、導出先のワトソン社（米国）より本年4月に米国製品名「RAPAFLO[™]」として新発売されました。

当社は昨年からスタートした中期経営計画「チェンジングプラン」（実行期間：平成20年4月から平成23年3月まで）の主要な経営方針を①新薬の売上拡大による国内市場における収益力の向上②創製品の技術導出による安定的な海外収益基盤の構築③積極的な研究開発投資の継続による特徴ある研究開発パイプラインの強化・充実と定めております。これらを強力に推進し、世界の患者さんに貢献できる「創薬研究開発型企業」として、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

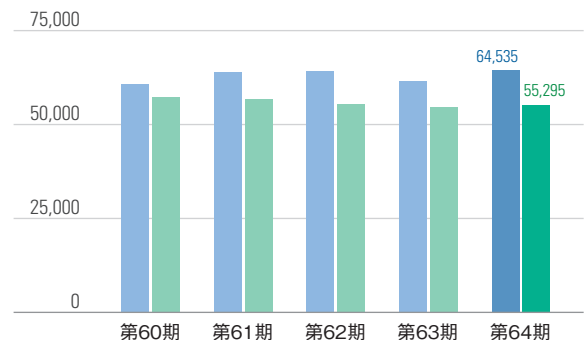


代表取締役社長 神津陸雄

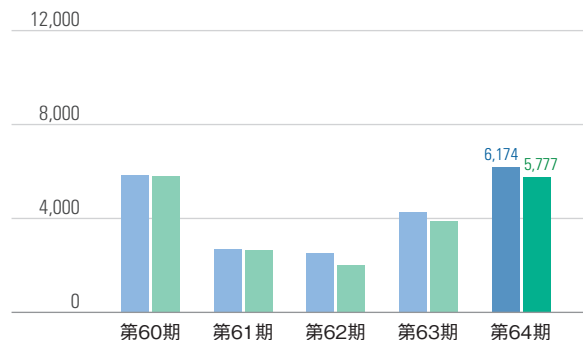
業績ハイライト（連結・個別）

■ 連結 ■ 個別

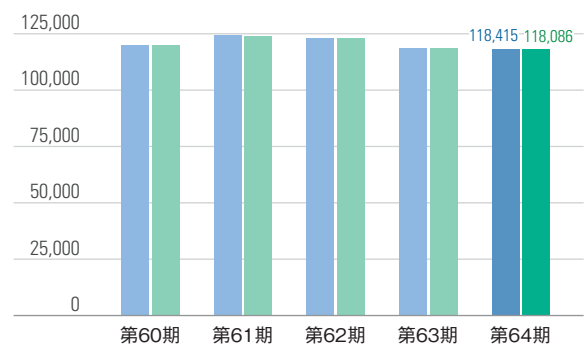
●売上高 (百万円)



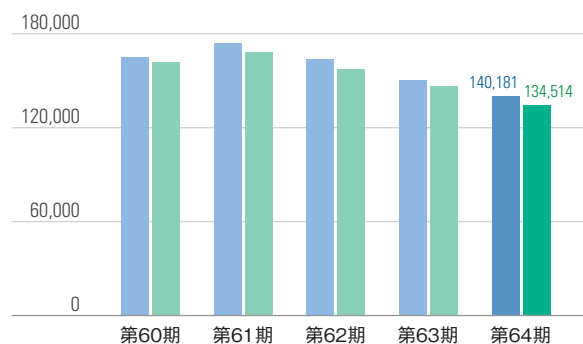
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



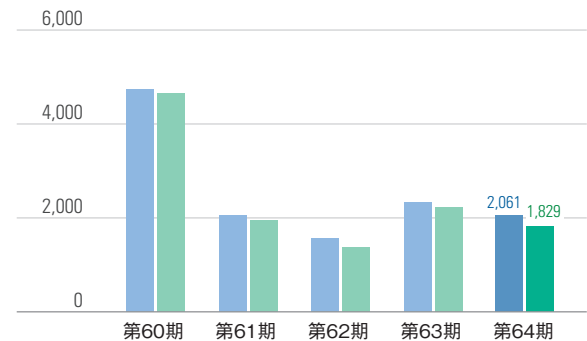
●総資産額 (百万円)



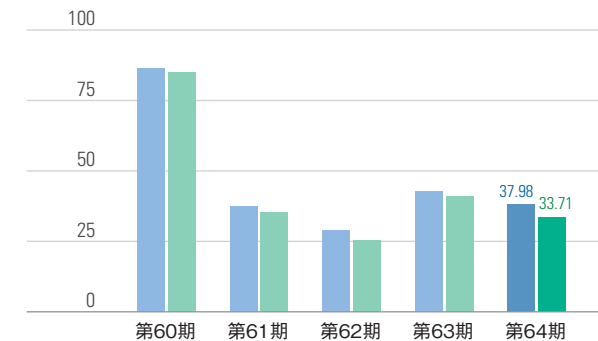
	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
売上高 (百万円)	60,933	64,007	64,215	61,480	64,535
経常利益 (百万円)	5,813	2,700	2,520	4,257	6,174
当期純利益 (百万円)	4,734	2,045	1,570	2,325	2,061
純資産額 (百万円)	120,085	124,259	123,232	118,775	118,415
総資産額 (百万円)	164,943	174,114	163,583	150,566	140,181
1株当たり当期純利益 (円)	86.47	37.31	28.93	42.86	37.98
1株当たり純資産額 (円)	2,210.01	2,288.70	2,268.85	2,186.21	2,177.96
自己資本比率 (%)	72.8	71.4	75.3	78.8	84.4
自己資本当期純利益率 (%)	4.0	1.7	1.3	1.9	1.7

業績ハイライト（連結・個別）

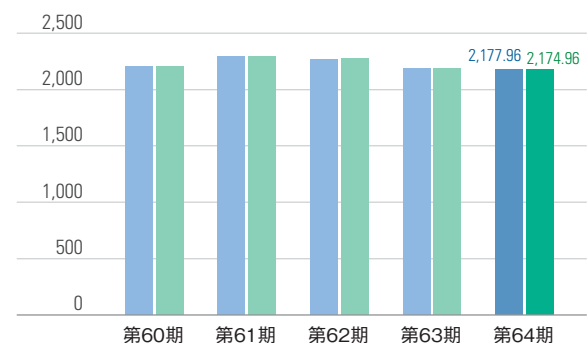
●当期純利益 (百万円)



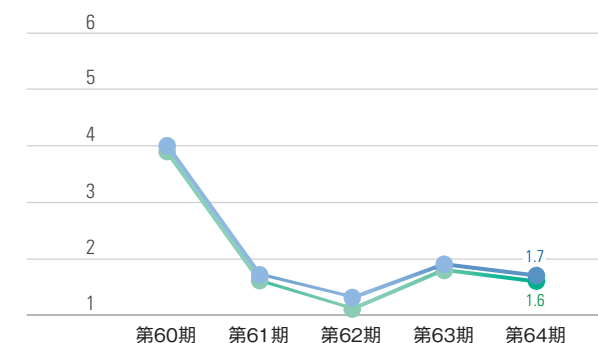
●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産額 (円)



●自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
売上高 (百万円)	57,236	56,642	55,579	54,767	55,295
経常利益 (百万円)	5,836	2,650	2,011	3,877	5,777
当期純利益 (百万円)	4,655	1,946	1,370	2,231	1,829
純資産額 (百万円)	119,841	124,679	123,326	118,684	118,086
総資産額 (百万円)	162,101	168,508	157,613	146,368	134,514
1株当たり当期純利益 (円)	85.00	35.49	25.26	41.13	33.71
1株当たり純資産額 (円)	2,205.51	2,296.43	2,273.00	2,187.37	2,174.96
自己資本比率 (%)	73.9	74.0	78.2	81.1	87.8
自己資本当期純利益率 (%)	3.9	1.6	1.1	1.8	1.6
資本金 (百万円)	24,219	24,219	24,221	24,271	24,356
発行済株式総数 (株)	56,795,185	56,795,185	56,796,454	56,838,791	56,911,185
1株当たり配当金 (円)	20	24	28	28	30
			(うち記念配当: 4)		(うち記念配当: 2)

事業の概況（連結）

当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国発の金融危機が实体经济に波及したことによる世界経済の急失速の影響を受け、円高の進行や輸出の激減による企業収益の悪化に加えて、雇用・所得環境も悪化し、また株式市況も大幅に下落するなど、停滞感が強まる中に推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進施策の進展に加え、平成20年4月に実施されました薬価基準改定の影響などを受け、一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、引き続き縮小基調にある公共事業投資に加え、景気悪化に伴う情報化投資や設備投資の減速並びに内需の低迷などを背景に、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®」、糖尿病治療薬「グルファスト®」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン®」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。ユリーフにつきましては、本年2月に新たに錠剤（第一三共株式会社と共同販売、平成20年7月承認取得、同年12月薬価基準収載）を発売いたしましたほか、グルファストにつきましては、α-グルコシダーゼ阻害剤との併用療法に加えてチアゾリジン系薬剤との併用療法（武田薬品工業株式会社と共同販売）の効能追加を本年2月に取得し、本効能に関わる医薬情報活動を開始いたしました。

研究開発面では、平成19年4月に承認申請を行いましたグルファストの効能追加（チアゾリジン系薬剤との併用療法）の承認取得に向けたフォローを行い、前述のとおり本年2月に承認取得いたしましたほか、平成20年9月にワイズセラピューティックス株式会社より抗CD26ヒト化抗体YS110（開発番号）について、悪性中皮腫を対象に日本におけるサブライセンス権付き独占的開発販売権を取得する契約を締結し、臨床試験に向けた準備を進めるなど、各テーマの研究開発を推進いたしました。また、日本ケミカルリサーチ株式会社と共同開発中の腎性貧血治療薬（遺伝子組換えヒトエリスロポエチン、開発番号JR-013）につきましては、同社より平成20年11月に製造販売承認申請が行われました。

このほか、平成20年5月には、当社が創製しました新規糖尿病治療薬レモグリフロジン（一般名）につきまして、既に契約を締結しております欧米などに加え、日本、韓国、中国及び台湾における独占的開発及び販売権をグラクソ・スミスクライン社（英国）に供与する契約を締結いたしました。これにより全世界におけるレモグリフロジンの独占的開発及び販売権を同社に許諾することとなりました。また、当社が創製し海外に技術導出した前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ®」）につきまして、技術導出先のワトソン社（米国）では米国製品名「RAPAFLO™」として平成20年10月に米国食品医薬品局（FDA）より承認を取得して本年4月に新発売しましたほか、同じく技術導出先のレコルダッチ社（伊国）では欧州医薬品庁（EMA）へ承認申請を行い、平成20年11月に受理され、現在、審査が行われております。

その他の事業におきましては、グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化に積極的に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は645億3千5百万円（前連結会計年度比5.0%増）、営業利益は63億9千3百万円（前連結会計年度比49.7%増）、経常利益は61億7千4百万円（前連結会計年度比45.0%増）となりましたが、株式市況の大幅な下落に伴い投資有価証券評価損を計上いたしましたことなどから当期純利益は20億6千1百万円（前連結会計年度比11.4%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましては薬価基準改定による影響や後発品・競合品によ

る影響などを受けましたほか、パーキンソン病治療薬「カバサル®」が平成19年4月の添付文書改訂の影響を引き続き受けて減少しましたが、新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンなどが伸長したことや技術料売上が増加しましたことなどから、売上高は552億9千5百万円（前連結会計年度比1.0%増）となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業のそれぞれにおいて増収となり、売上高は92億3千9百万円（前連結会計年度比37.6%増）となりました。

次期の見通し

医薬品業界は、後発品使用促進施策をはじめとする医療費抑制施策の影響などにより、引き続き厳しい環境下にあります。その他の事業におきましても、景気が大幅に悪化して停滞感が強まる中、価格競争など依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、また、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高655億円、営業利益65億円、経常利益71億円、当期純利益43億円を目標に業績の確保に努力いたします。

対処すべき課題

製薬業界を取り巻く経営環境は激変の最中にあります。国家財政の逼迫を背景として医療保険制度の再構築が検討され、国内の医療用医薬品市場は今後も低成長に留まる見通しです。また、世界的に新薬シーズが枯渇している一方、技術革新によりバイオ医薬品を始めとする新たなカテゴリーの医薬品が台頭し、新薬開発競争はますます熾烈を極めております。

このような経営環境下にあつて、存在価値・意義のある創薬研究開発型企業として更なる成長のステージに進むべく、①国内医療用医薬品市場における確固たるマーケティング基盤の構築、②新薬を継続して発売できる研究開発体制の構築、③新たな収益基盤としての創薬によるライセンス収入の確立と拡大、④会社機能の強化・補完、効率化のための戦略的なアライアンスの推進、⑤グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化、を対処すべき課題として認識し、取り組んでまいります。

研究開発の状況

当グループの中核である医薬品事業では、経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発へ最優先に経営資源を投下するとともに、戦略的なテーマ導入を進め、研究開発パイプラインの強化、充実を図っております。

自社 (平成21年5月現在)

開発段階	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考
承認申請中	JR-013	導入品/日本ケミカルリサーチ共同開発	透析施行中の腎性貧血	赤血球増加作用	バイオ後続品
第Ⅱ相	KUC-7483	創製品	過活動膀胱	β 3受容体刺激作用	
	KLS-0611	創製品	ドライアイ	涙液・ムチン分泌促進作用	
	KPS-0373	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) 作用	
第Ⅰ/Ⅱ相	YS110	導入品/ワイズセラピューティックス、東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒトモノクローナル抗体	治験実施地域：仏国
第Ⅰ相	KMV-0207	自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善	速効・短時間型インスリン分泌促進作用 + α -グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ボグリボース配合剤

導出

開発段階	一般名/開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ (日本)	※1中国 ※2アセアン (10ヵ国)	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)	レコルダッチ (伊国) 第一三共 (日本) シンモサ (台湾)	欧州、中東、アフリカ 中国 ※3台湾、香港	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α 1A受容体拮抗作用
	承認申請準備中	シロドシン (silodosin)	エーザイ (日本)	アセアン (10ヵ国)、 インド、スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害
第Ⅲ相	ミチグリニド (mitiglinide)	エリキシア (米国) オリエントユーロ (台湾) USV (インド)	北米、中米、南米 ※3台湾、香港 ※3インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	レモグリフロジン (remogliflozin)	グラクソ・スミスクライン (英国)	全世界	2型糖尿病、1型糖尿病	SGLT2阻害作用
	ベドラドリン (bedradrine)	メディシノバ (米国)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β 2受容体刺激作用
第Ⅱ相	トラニラスト (tranilast)	ニュオンセラピューティックス (米国)	日本、韓国を除く全世界	関節リウマチ	サイトカイン、ケミカルメディエーター、活性酸素遊離・産生抑制作用
	第Ⅰ相	KGA-3235	大日本住友製薬 (日本) グラクソ・スミスクライン (英国)	日本 欧米他	2型糖尿病

※1：承認取得まではキッセイ

※2：申請準備中地域を含む

※3：第Ⅲ相臨床試験からの開発 (第Ⅰ相及び第Ⅱ相臨床試験はスキップ)

トピックス



新剤形発売

前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®」の新剤形である錠剤：「ユリーフ®錠 2mg」及び「同 4mg」を平成21年2月5日に発売しました。「ユリーフ®錠」は、従来のカプセル剤に比較し、嚥下機能が低下した高齢の患者さんにも服用が容易になります。また、4mg錠に導入した割線により、一剤での用量調整が可能となりました。

さらに、業界初の試みとして、外装箱の「製品名・使用期限捺印部・バーコード」部分にミシン目を導入し、カード化が可能な仕様としました (意匠登録済)。本カードは開封後のインデックスとして使用でき、製品識別性の向上 (ヒヤリハット防止) や在庫管理のし易さの面からも、調剤現場の先生方より高い評価を得ております。「ユリーフ®錠」は、患者さんの医療ニーズや医療関係者の皆さんの利便性向上に一層貢献するものと期待されます。

新スルーキング i、ゆめごはん1/35トレイ 新発売

当社では、とろみ調整食品「新スルーキング i」を平成20年12月に、たんぱく質調整食品「ゆめごはん1/35トレイ」を平成21年2月に新発売しました。

とろみ調整食品は、粘性の低い食物にとろみをつけて飲み込みやすくする食品です。「新スルーキング i」は、従来品よりも「溶けやすさ」と「とろみの立ち上がりの早さ」を改良したことにより、咀嚼・嚥下機能が低下した要介護者・高齢者のQOL (生活の質) 向上に今まで以上に役立つと考えております。

「ゆめごはん1/35トレイ」は、エネルギーは通常のご飯と同等にしなが、国内最少の低たんぱく化 (1パック180g 当たりたんぱく質0.13g、通常のご飯の1/35) を実現しました。慢性腎不全患者さんなどたんぱく質の摂取制限が必要な方の食事療法に利用いただける製品です。



お問い合わせ先：ヘルスケア事業部

通信販売専用フリーダイヤル：0120-588-117

財務諸表（連結）

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	期別 科目	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	85,557	82,028	流動負債	26,415	15,938
現金及び預金	12,067	16,801	支払手形及び買掛金	4,352	5,698
受取手形及び売掛金	23,420	23,085	短期借入金	2,332	2,402
有価証券	33,881	26,362	1年以内償還予定転換社債	12,091	—
たな卸資産	10,120	10,324	未払法人税等	1,136	521
繰延税金資産	1,914	1,952	賞与引当金	1,865	1,937
その他	4,236	3,577	その他の引当金	863	730
貸倒引当金	△81	△74	その他	3,773	4,646
固定資産	65,008	58,152	固定負債	5,375	5,827
有形固定資産	29,585	28,368	長期借入金	403	841
建物及び構築物	12,655	11,922	退職給付引当金	3,384	3,434
土地	13,440	13,415	役員退職慰労引当金	1,585	103
建設仮勘定	79	16	その他	1	1,448
その他	3,410	3,014	負債合計	31,791	21,765
無形固定資産	3,100	2,251	(純資産の部)		
投資その他の資産	32,321	27,532	株主資本	116,635	117,204
投資有価証券	27,717	23,128	資本金	24,271	24,356
長期貸付金	593	493	資本剰余金	24,164	24,253
長期前払費用	312	214	利益剰余金	72,407	72,894
繰延税金資産	1,666	2,267	自己株式	△4,207	△4,300
その他	2,145	1,478	評価・換算差額等	1,985	1,044
貸倒引当金	△113	△49	その他有価証券評価差額金	1,985	1,044
資産合計	150,566	140,181	少数株主持分	153	165
			純資産合計	118,775	118,415
			負債純資産合計	150,566	140,181

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	61,480	64,535
売上原価	22,800	23,719
売上総利益	38,680	40,816
販売費及び一般管理費	34,410	34,422
営業利益	4,269	6,393
営業外収益	1,002	913
営業外費用	1,014	1,132
経常利益	4,257	6,174
特別利益	951	80
特別損失	737	2,896
税金等調整前当期純利益	4,471	3,358
法人税、住民税及び事業税	1,838	1,290
法人税等調整額	284	△4
少数株主利益	22	12
当期純利益	2,325	2,061

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	24,271	24,164	72,407	△4,207	116,635	1,985	1,985	153	118,775
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	85	85	—	—	170	—	—	—	170
剰余金の配当	—	—	△1,574	—	△1,574	—	—	—	△1,574
当期純利益	—	—	2,061	—	2,061	—	—	—	2,061
自己株式の取得	—	—	—	△101	△101	—	—	—	△101
自己株式の処分	—	3	—	9	12	—	—	—	12
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△940	△940	12	△928
連結会計年度中の変動額合計	85	89	486	△92	568	△940	△940	12	△359
平成21年3月31日残高	24,356	24,253	72,894	△4,300	117,204	1,044	1,044	165	118,415

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,306	11,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,054	△1,655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,447	△13,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△0
現金及び現金同等物の増減額	1,797	△3,261
現金及び現金同等物の期首残高	43,954	45,874
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	122	—
現金及び現金同等物の期末残高	45,874	42,613

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（個別）

● 貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	前事業年度 (平成20年3月31日現在)	当事業年度 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		82,838	77,893
固定資産		63,529	56,621
有形固定資産		28,234	27,059
無形固定資産		3,181	2,270
投資その他の資産		32,113	27,291
資産合計		146,368	134,514
(負債の部)			
流動負債		23,097	11,350
固定負債		4,586	5,078
負債合計		27,683	16,428
(純資産の部)			
株主資本		116,697	117,035
資本金		24,271	24,356
資本剰余金		24,164	24,253
利益剰余金		72,469	72,725
自己株式		△4,207	△4,300
評価・換算差額等		1,986	1,051
純資産合計		118,684	118,086
負債純資産合計		146,368	134,514

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	前事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高		54,767	55,295
売上原価		17,724	16,185
売上総利益		37,043	39,110
販売費及び一般管理費		33,243	33,145
営業利益		3,800	5,965
営業外収益		1,080	998
営業外費用		1,003	1,186
経常利益		3,877	5,777
特別利益		954	80
特別損失		676	2,893
税引前当期純利益		4,154	2,964
法人税、住民税及び事業税		1,600	1,230
法人税等調整額		322	△95
当期純利益		2,231	1,829

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等	
平成20年3月31日残高	24,271	24,164	72,469	△4,207	116,697	1,986	1,986	118,684
事業年度中の変動額								
新株の発行	85	85	—	—	170	—	—	170
剰余金の配当	—	—	△1,574	—	△1,574	—	—	△1,574
当期純利益	—	—	1,829	—	1,829	—	—	1,829
自己株式の取得	—	—	—	△101	△101	—	—	△101
自己株式の処分	—	3	—	9	12	—	—	12
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△935	△935	△935
事業年度中の変動額合計	85	89	255	△92	337	△935	△935	△597
平成21年3月31日残高	24,356	24,253	72,725	△4,300	117,035	1,051	1,051	118,086

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

製商品の紹介

● 主な医療用医薬品

● その他代謝用薬	グルファスト錠	糖尿病治療薬
● 神経系用薬	カバサル錠	パーキンソン病治療薬
● 感覚器官用薬	リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
	リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
● 循環器官用薬	ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
	キサンボン注	脳循環改善薬
	シナロング錠	血圧降下薬
● 消化器官用薬	サラジェン錠	口腔乾燥症状改善薬
	ガスコン	消化管内ガス駆除薬
	アラント	胃・十二指腸潰瘍治療薬
● ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	ユリーフ錠	排尿障害改善薬
	ウテメリン	切迫流・早産治療薬
	フラグミン静注	血液凝固阻止剤
	ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
	フルスタン錠	活性型ビタミンD ₃ 製剤
● アレルギー用薬	リザベン	アレルギー性疾患治療薬
	ドメナン錠	気管支喘息治療薬

● 主なヘルスケア食品

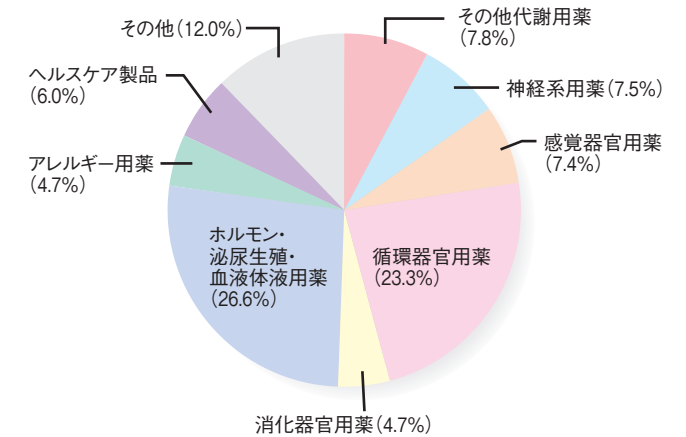
介護・高齢者向け食品

新スルーキングi・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうに食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召し上がれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召し上がれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぶりの大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味、カキ風味の4種があります。

● 売上高比率 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1個で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召しあがれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽にお召し上がりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしい乾麺です。

株式の状況

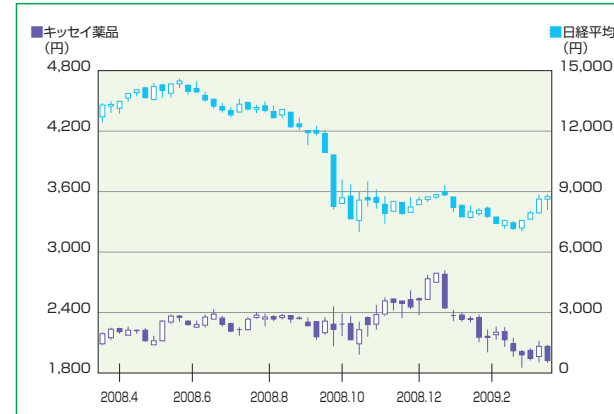
発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 56,911,185株
 株主数 3,034名 (前期末比増減 156名減)

●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
第一生命保険相互会社	3,418千株	6.3%
有限会社カンザワ	3,178	5.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,095	5.7
神澤邦雄	2,702	5.0
株式会社八十二銀行	2,670	4.9
株式会社みずほ銀行	2,670	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,467	4.5
神澤陸雄	1,480	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,478	2.7
鍋林株式会社	1,222	2.3

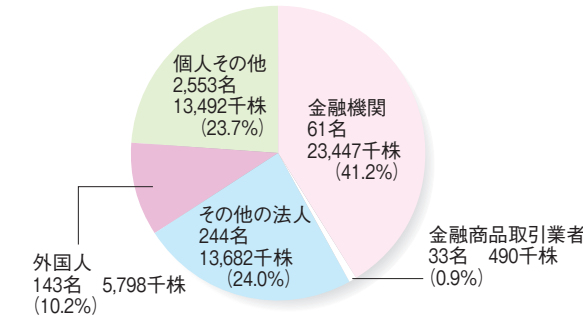
(注) 当社は自己株式2,617,582株を保有しております。なお、出資比率は、発行済株式の総数から自己株式数を除いた株式数を基準に算出しております。

●株価チャート

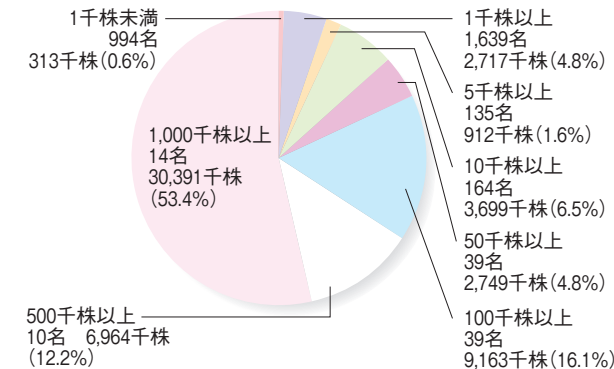


(平成21年3月31日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



会社の概要

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**
 設立 昭和21年8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の製造販売
 事業所 本社 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店
 (注) 支店の下に37営業所を設置しております。
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市)、上越化学研究所(新潟県上越市)、ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)
 従業員数 1,551名

(平成21年3月31日現在)

代表取締役会長 神澤邦雄
 代表取締役社長 神澤陸雄
 取締役副社長 斎藤浩
 専務取締役 味澤幸義
 常務取締役 柳澤圭一郎
 常務取締役 降旗征一郎
 取締役 足立寿喜夫
 取締役 赤羽増夫
 取締役 御子柴今雄
 取締役 佐藤公衛
 取締役 柴田信男
 取締役 両角正樹
 取締役 中田安紀
 取締役 降旗喜男
 常動監査役 矢花哲夫
 監査役 久保田嘉信
 監査役 熊澤潔
 監査役 上野紘志

ホームページのご案内

タイムリーな情報をホームページで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

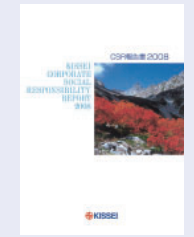
アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



CSR報告書

環境への取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL : 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)